

フォーラムアンケート自由意見

1 商店街活性化へ向けてのご意見&ご提案

- ・ 駐車場の整備、個性ある店、高齢者にやさしい道、広場、店、コンセプトが明確な街づくり、自然素材の石、木材を使ったハード。
- ・ 安心して車を停められる安い駐車場の整備、そして駐車場から歩いて10分くらいのところ商店街がある所が望ましい。
- ・ 核となる大型店は必要です。川徳、ダイエーなど。一通りのものを買いきえられることが商店街には要求されます。何かの「ウリ」を持ってみては。例えば、「うちは水にこだわっています」とか。セールスポイントを追究してください。
- ・ 実行委員会の拡大、特に商店街の方の関心を高める必要があると思います。また、盛岡広域の方の参加が必要です。
- ・ 歩き易い、人間臭い、街のあちこちに物語がある街づくり。タクシーは通さず、小型バスの両方向路線にしてみてもいいでしょう。
- ・ 本来主体であるべき商店街があまりにも無関心ではないか。第三者（行政を含めた）にまかせて、他人事では活性化は絶対に成し得ない。自らがもっともっと活動すべきではないか。商店街内部における話し合いが必要だと思う。
- ・ 提言の中で「商店街と来街者の価値観を同じにしていく、ということが大事だと思います」とのことでしたが、まさにその通りだと思いました。しかし商店街としての統一した見解を出すのは難しいと思います。
- ・ 地元における強いリーダーシップの存在、もしくは創出。皆で共通の意識を持って考えていく土俵。次の取組を!!
- ・ イオンなどの大手資本での買物は岩手県民として利益を損なう恐れがあることをPRする。県職員の郊外型大規模店での買物禁止。(無理でしょうけど)
- ・ 商店街が積極的に参加し、通行者が寄りたくなる、魅了する商品をそろえたオープンカフェ。
- ・ 商店街を利用する立場の県立大生、来街者アンケートなどの意見を商店街がどう取り組んでいくか。商店街が生活者の意見を尊重して生活者の目線で商売する必要がある。
- ・ 地元商店街が主体となった実験が必要。データを見ると高齢者にメリットは少なく、タクシー業界の餌食になったような気がする。駅-大通-公園-中ノ橋(肴町)という立地にあり、地域的にどうつなげていくのか課題。
- ・ 商店街の人に元気がない!「いらっしゃい」の一言もない店が多すぎる。店の中にいるのではなく、通りに店の人が出向き、「いらっしゃい」と声をかけなければならない。店側が受身になりすぎている。
- ・ 全ての立場の意見を聞く。そして折り合いをつけるか。
- ・ 若者だけの町ではなく、中高年者が安心して買物や食事ができる街になって欲しい。1回の実験ではなく、成功不成功でも数年続けてほしい。そして消費者を取り戻して欲しい。
- ・ 他のイベントなど連携し、ニュース性を高める。参考に、盛岡市出身のミュージシャンを売り出し、ラジオと連携 地元の町の連帯感を作る。プロ野球「楽天」の応援。
- ・ やわらかな考え方
- ・ 店主たちが中心となって考えること
- ・ 商店街が一体となって取り組む
- ・ 客のニーズと商店街がどのように受け入れるのか知るべき
- ・ 今回の第一クール、第二クールがあったので、第一クール中に出たアンケートを第二クールに活かせばよかったのではないかと。少しは参考になったのでは。
- ・ 地域の歴史やストーリー性に同感
- ・ まず、駐輪場と休憩ベンチの設置を!!リリオすらはっきりとした駐輪スペースがない。バ

スを運行するなら貸し自転車もセットで運行してみてもは、デザイン性も優れたものや珍しいもの、電球式などのPRもかねて。映画祭のイベントやオブジェは努力が認められるがまだ安っぽく見えた。プランターは歩行、自転車に邪魔だった。各商店のサービス水準の最低ラインについて統一基準が欲しい。一軒でもサービスが悪い店があるとイメージが低下する。商品を自宅に届ける安価な配送があるといい。

- ・ 県立大学生が提案しましたが、学生が深くピックアップしなかった「全くお金のかからない場所の創設」の必要性を感じました。中心市街地と中心商店街は違う。中心市街地は商店街だけのものではなく、市民、県民のものであると考えます。休める場所、トイレの問題も含め、何も用事がなくても行ってみたくなる場所であって欲しい。結局それが、中心商店街の活性化にもつながると思っています。
- ・ 商店街の方々が意思を統一し、自ら取り組んでいく姿勢がなければ何も始まらないと思います。
- ・ 子供からお年寄りまで当てはまるアンケート内容を作成してアンケート調査すること。内容としては大通りに望む施設、内容。

2 社会実験の感想、ご意見など

- ・ 卓上のおとぎ話ではなく、もっと現場の意見を聞き、仮説を立ててやるべきである。今回は全く大失敗である。
- ・ 商店街の皆さんのご協力を得られなかったのが残念。店主は今のままでよいと思っているのか。
- ・ 実験を行ったことは大いに意味があります。結果の成否はともかく、今後どう活かしていくかは言うまでもないところです。今後、大通、菜園地区の商店街がどのような展開を示すのか期待します。
- ・ オープンカフェを行うには非常に時期が悪い。カフェの内容もどちらかというと学生中でしたね。時期が違えば、もっと商店街の活性化につながる。学生の方の元気な発想を第一歩にもっともっと周囲を巻き込み、元気な盛岡の街作りに継ぐことを期待。バスの運行についてですが、でんでんむしの運行範囲の拡大も考えなければ「歩いて楽しめる」ことの本来の目的が一部地域の人々のイベントになるのではないのでしょうか？盛岡全域が対象とは言いませんが、「大通商店街」の利用客をどの範囲までの市民を対象にするのか。もう少し考えて交通網や駐車場の拡大を進めなければ単に「イベント」にしかありませんよね。市役所などの行政機関の駐車場もできれば、拡大につながる。
- ・ 企画段階で商店街関係者が蚊帳の外だったのが致命的だったと思います。商店街も組織率低下の問題があるとはいえ、このような機会を商売に活用する気概を持つくらいじゃないとダメだと思います。
- ・ 街づくりを行う、考えていくことにつなげていく為のツールとして使えるものは社会実験に限らず、どんどん活用していくべき。
- ・ 非常におもしろい取組だと思いました。商店街の現状が一番印象に残りました。
- ・ 商店街からもフォーラムに参加し、取組現況について報告をいただいても良いのではないのでしょうか。
- ・ 報告者の所属がよく分からなかった人がいたので、どのような立場なのか紹介して欲しい。商店街へのアンケート回収率が10数パーセント、ということだが、好意的な人は多く回答し、否定的な人は回答しなかったのではないか。その辺はどうなんだろうか。実質はもっと厳しい結果なのかも。地元の店とフランチャイズの店と結果に違いがあるかも。カフェ出店者へのアンケート回収もすくなかったのですが、ある程度儲かるのであれば商店街の人でも自分でやってみようかという気になるかも知れない。売上が良かったことを期待していました。商店街の熱意が感じられない。売上に繋がったのであろうか。因果関係は分からないが一方で歩道の環境が良くなったということもあり、これからどう調整を図っ

ていくのか。 の 商店街は商店街が主体となっている。やり方とすれば、商店街関わりが多いほうが良い。

- ・ 歴史性のない通りでどうストーリーを作るのか。街の中心地への門前町的な機能はいかがか。行政の人間のみならず、市政はどれだけ周知されたか。はなはだ疑問。継続的に今後も各地域で実験すべきだと思います。
- ・ 次回の実験は夏場と冬場に行ってはどうか（土日のみ）。何かの祭りに重ねることがない場合の効果も知りたいと思います。商店街が主導的に行わなければならない。行政主導の時代は終わっている。
- ・ この事業に関係した方々に感謝します。これからもがんばってください。
- ・ 冬ソナのように映画、ドラマのロケ地として、交通規制などその影響について社会実験。
- ・ 良かったです!!
- ・ 商店街の構造上の問題を別とすれば、今回の実験は来街者に視点を当てたものでこれに関するメリット、デメリットが提起されており、一定の成果があったと感じられます。ただし、商店街の活性化に結び付けるのであれば、店主側に商品のストックディスプレイまで商品の物流をしっかり把握しておくことが前提となるような気がします。もう一度、自らの基盤再認識し、コセンサスを得たように再度実験を試まれることを期待します。
- ・ 商店街の話し合いが必要と思う。
- ・ 今回の反省を踏まえ、商店街ももう少し議論し、商店街も主体的に入り込めるようになるべき。
- ・ 各世代がその年代にしか分からないことや求めていることを、その年代の目線で出し合った上で、歩み寄ることが大切だと思います。若い人がお年寄りのことを考えていないわけではないし、ただ実際に分かりきれない部分があるのは仕方がないと思うのでそれぞれの目線で意見があれば、すごく豊富なアイデアになるとと思います。
- ・ 視野が広がった。
- ・ セミナーやフォーラムに大通りのほうがもっとたくさんの参加があればよかったと思います。やはり来街者の意識と商店街の皆さんの意識のズレをどうすり合わせるかが最大の問題だと感じました。
- ・ お金を使わず、 を使うキッカケになれば。